

楽しみながら行なう地域連携

- 東京都品川区
 - 社会福祉法人新生寿会
 - 品川区立東五反田地域密着型多機能ホーム
東五反田倶楽部
施設長 鈴木 裕太
 - 認知症介護指導者(東京センター48期生)
- ※写真の使用について同意を得ました

令和元年10月29日作成

本報告の趣旨

- 報告者である鈴木裕太(品川区)は、ジロール神田佐久間町(GH→認知症対応型DS)、ジロール麴町(小規模多機能型居宅介護・GH)、東五反田倶楽部(小規模多機能型居宅介護・GH)と、異動することにより地域との連携を楽しみながら作ってきた。
- 本報告では、ジロール神田佐久間町、ジロール麴町での実践の事例に簡単に触れ、現在の所属先である東五反田倶楽部におけるファーム・エイド東五反田の取り組みについて説明する。
- ファーム・エイド東五反田は、病院との連携を試行錯誤しながら、平成30年10月に実施し、その経験を踏まえて令和元年10月に「わ！っとつながるみんなの未来 ファーム・エイド東五反田」と名称を変更して実施した。
- 地域住民や病院、行政と徐々に連携を深めながら進めている過程を紹介したい。

地域の概要

品川区全体面積：22.84 km²

上大崎・東五反田エリア



品川区全体	385,122人
高齢者人口	81,017人
高齢化率	21.0%

大崎地区人口	75,270人
高齢者人口	13,321人
高齢化率	17.7%

荏原西地区人口	50,995人
高齢者人口	10,933人
高齢化率	21.4%

荏原東地区人口	89,362人
高齢者人口	20,993人
高齢化率	23.5%

品川地区人口	60,026人
高齢者人口	12,334人
高齢化率	20.5%

八潮地区人口	12,234人
高齢者人口	4,000人
高齢化率	32.7%

大井地区人口	97,235人
高齢者人口	19,436人
高齢化率	20.0%

※2017(平成29)年4月1日現在

日常生活圏域数 20
地域包括支援センター 20
地域支援推進員 行政2名 その他2名

地域の概要



主要産業：京浜工業地帯の発祥地で、ものづくり産業が盛ん
近年は、大崎・五反田エリアを中心にIT企業の
進出が顕著

地理的特徴：八潮地域は陸の孤島と呼ばれる。人口12000人
戸越銀座商店街をはじめ沢山の商店街が健在
地域によって貧富の差が大きい

所属施設・事業所の概要

社会福祉法人 新生寿会
(きのこグループ)

1984年 日本初の認知症専門病院
きのこエスポアール病院を開設
認知症のケアの実践の失敗を真摯に受け止め試行錯誤を繰り返す



東五反田倶楽部

小規模多機能型居宅介護（1階）

登録定員 25名

通い 15名/日

泊まり 5名/日

グループホーム（2,3階）

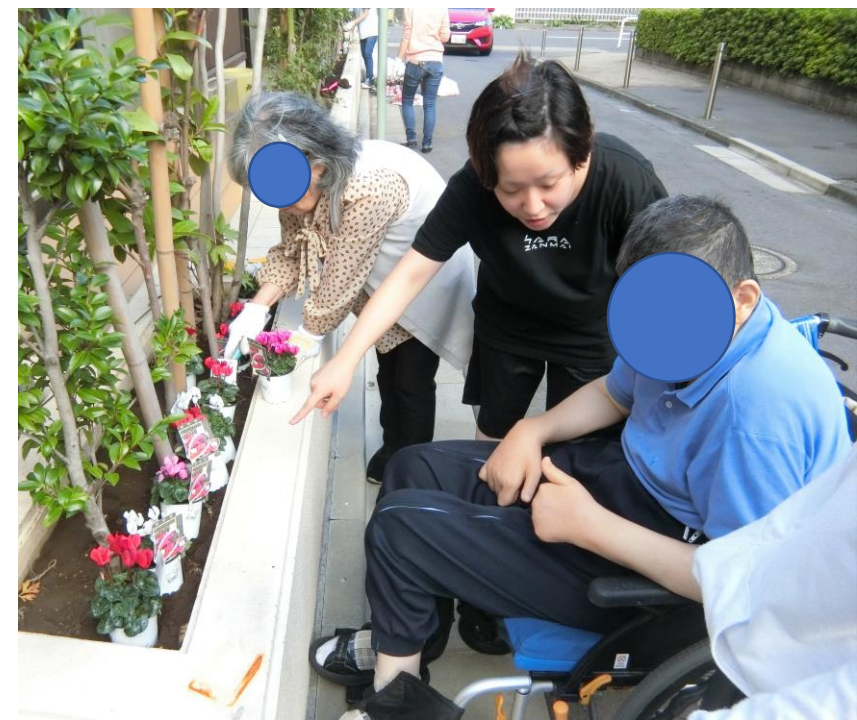
定員 18名（9名×2ユニット）



東五反田倶楽部周辺地域の特徴

- 町会役員の高齢化
- 新しいマンションが多い
- 大きい病院がある
- 診療所も4件ある
- 医療保健大学がある
- 薬局は5店舗
- 小学校もある
- 隣の町会は高級住宅街である

利用者・スタッフ の日常風景



品川区 認知症施策 全般

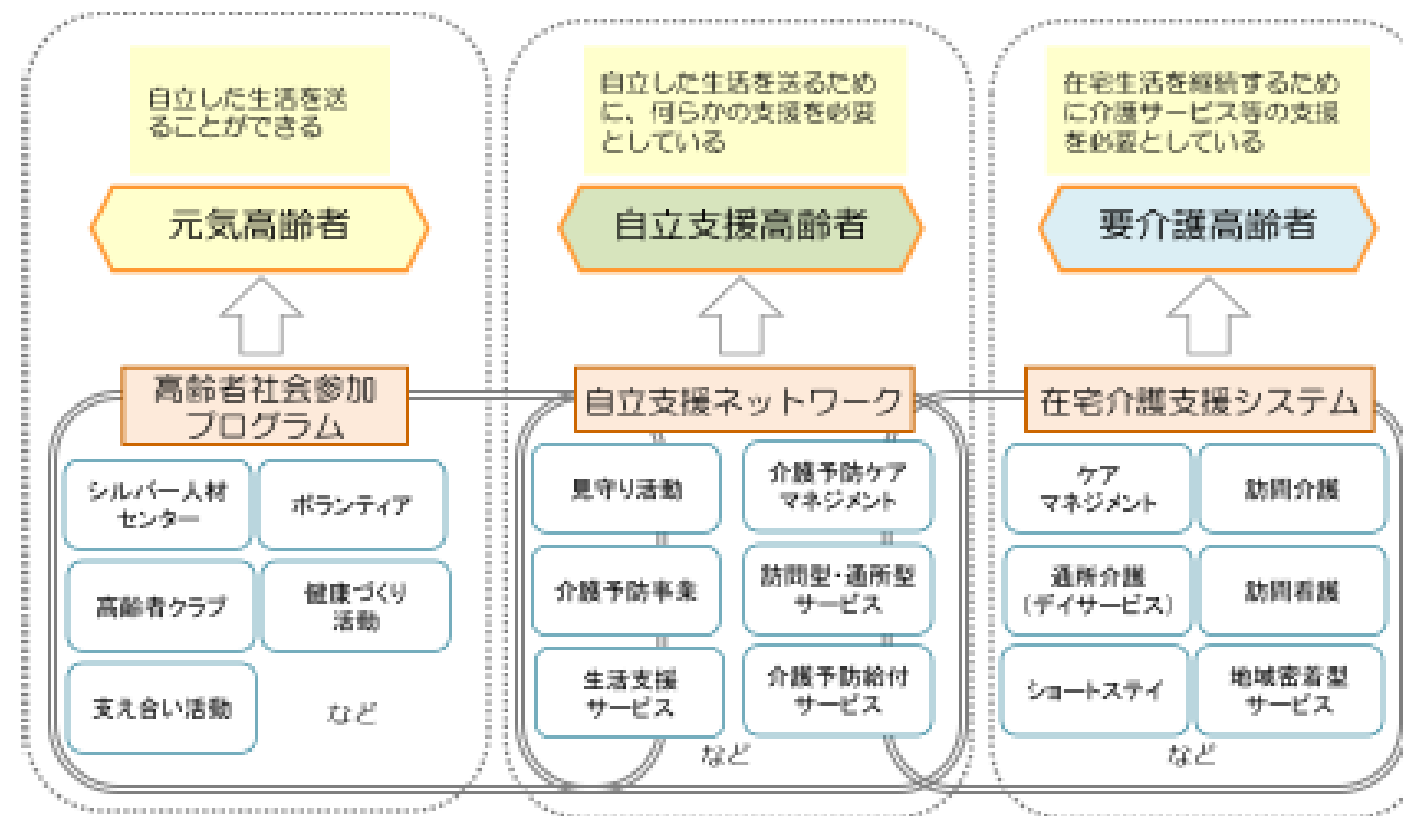


品川区
認知症施策
推進キャラクター
くるみちゃん

【高齢者を支える3つのしくみ】 第1号被保険者数：82,206人（2017（平成29）年10月1日）

元気高齢者 66,821人	事業対象者 833人 要支援者 4,962人 (在宅 4,466人) (施設 496人)	要介護1～5 10,026人 (在宅 5,365人) (施設 4,661人)
------------------	---	---

※要支援・要介護者数は第2号被保険者および転入者436人を含む



自助・互助	共助	公助
民間のサポート	地域の支え合い	在宅介護支援システム

7つの推進 プロジェクト 概要

推進プロジェクト1. 地域との協働によるネットワークと環境の整備

地域におけるワンストップの相談窓口を区全域に整備するとともに、地域との協働による支え合いのネットワークを強化して、高齢者が安心、安全に生き生きと生活できる環境を創ります。

推進プロジェクト2. 健康づくりと介護予防サービスの充実

心身状況に応じた健康づくりの充実を図ることにより健康寿命の延伸を目指します。また、介護予防サービスの利用促進により、住み慣れた自宅で自立して暮らせる期間の延伸を支援します。

推進プロジェクト3. 介護保険サービスの充実

認知症や障害、病気等により、要介護度が中重度になっても、本人、家族の意思を尊重しながら、可能な限り住み慣れた自宅で暮らし続けられるよう、本人と家族の双方を支援します。

推進プロジェクト4. 認知症高齢者を支える施策の推進

今後も認知症高齢者の増加が見込まれるため、認知症に対する正しい理解を普及啓発していくとともに、本人と家族が安全に安心して地域で生活できるよう地域ぐるみで支援します。

推進プロジェクト5. 医療と介護の連携の推進

高齢になると医療と介護の両方を必要とする人が増加するため、本人、家族の意思を尊重しながら、医療職、介護職などの多職種が連携して療養環境を整え、適切なケアを提供します。

推進プロジェクト6. 入所・入居系施設の整備とサービスの質の向上

住み慣れた家での生活の継続が難しくなったときのセーフティネットとして、多様な入所・入居系施設の整備検討を進めるとともに、施設の自主的なサービスの質の向上を支援します。

推進プロジェクト7. 福祉人材の確保、育成

地域包括ケアを一層推進するとともに、介護サービス等を安定的に供給するため、多様な福祉人材の確保、育成の方策を検討、実施するとともに、住民の地域福祉への参画を推進します。

活動 取り組みの 位置づけ

推進プロジェクト1. 地域との協働によるネットワークと環境の整備

地域におけるワンストップの相談窓口を区全域に整備するとともに、地域との協働による支え合いのネットワークを強化して、高齢者が安心、安全に生き生きと生活できる環境を創ります。

推進プロジェクト3. 介護保険サービスの充実

認知症や障害、病気等により、要介護度が中重度になっても、本人、家族の意思を尊重しながら、可能な限り住み慣れた自宅で暮らし続けられるよう、本人と家族の双方を支援します。

推進プロジェクト4. 認知症高齢者を支える施策の推進

今後も認知症高齢者の増加が見込まれるため、認知症に対する正しい理解を普及啓発していくとともに、本人と家族が安全に安心して地域で生活できるよう地域ぐるみで支援します。

推進プロジェクト5. 医療と介護の連携の推進

高齢になると医療と介護の両方を必要とする人が増加するため、本人、家族の意思を尊重しながら、医療職、介護職などの多職種が連携して療養環境を整え、適切なケアを提供します。

「7つの推進プロジェクト」のうち今回の取り組みはこの4つに関連

「地域とのかかわり」

職歴

- | | |
|--------------|---|
| 平成 1 4 年 7 月 | ジロール神田佐久間町(新規オープン)入職
認知症対応型共同生活介護へ配属 |
| 平成 1 5 年 4 月 | 認知症対応型通所介護へ異動 |
| 平成 1 7 年 4 月 | 認知症対応型通所介護のユニットリーダーに就く |
| 平成 2 2 年 6 月 | ジロール麴町(新規オープン)異動
小規模多機能型居宅介護
認知症対応型共同生活介護の管理者に就く |
| 平成 2 9 年 5 月 | 東五反田倶楽部(新規オープン)異動
小規模多機能型居宅介護
認知症対応型共同生活介護の施設長に就く |

平成14年～

認知症対応型通所介護(ジロール神田佐久間町)

- ・平成14年7月1日 新規開設
- ・地域行事（縁日、もちつき、神田祭り）に参加
- ・施設として町会長とはつながりがあるもスタッフはわからず
- ・施設内のケアで日々いっぱいいっぱい
- ・近隣のお店での買い物はしていた
- ・行事以外での地域とのつながりはほとんどなし
- ・縁日に参加⇒**地域のことを全く知らないことに気付いた。**



平成24年～

小規模多機能型居宅介護(ジロール麹町)

Aさん 84歳 独居 要介護3 アルツハイマー型認知症

- ・ 自宅で生活が続けたい 持ちビルの最上階に住んでいる
- ・ 養女が近くににいるが、養女に対して自分の財産を取ったと怒鳴る
- ・ 1人でいると不安になることも多い
- ・ 地域の人との関係は過去にトラブルを起こし悪化していた
- ・ 一人で不安になり外へ飛び出し地域から連絡が入ることが増える
- ・ 地域の住民から施設に入れるべきだと養女になんども依頼がある

結果、自宅での生活をあきらめ施設入所となるが、本人はなぜ自宅に帰れないのかと施設で大声や暴力を振るう。精神安定剤を投与され、1人では動けなくなる。数ヵ月後に他界された。



認知症になっても安心して地域で暮らしていくためには支援やサービスだけでなく地域の理解が重要であることに改めて気付いた。

あいおい夏祭り H29年8月

相生会 町会会議にて(H29年5月)

- 40年位前は町会も活気もあり縁日や祭りで盛り上がっていた
- 今では若い人も少なくなつて、そこまでの元気はない
- 事業所ができ、若い人たちが増えるのはありがたい



- 以前のように一緒に活気が取り戻せないか
- 地域でのつながりを広げていけないか



(隣のマンションの住人)
地域食堂 H30年1月～



(地域の声からはじめた)
きのこカフェ H30年7月～

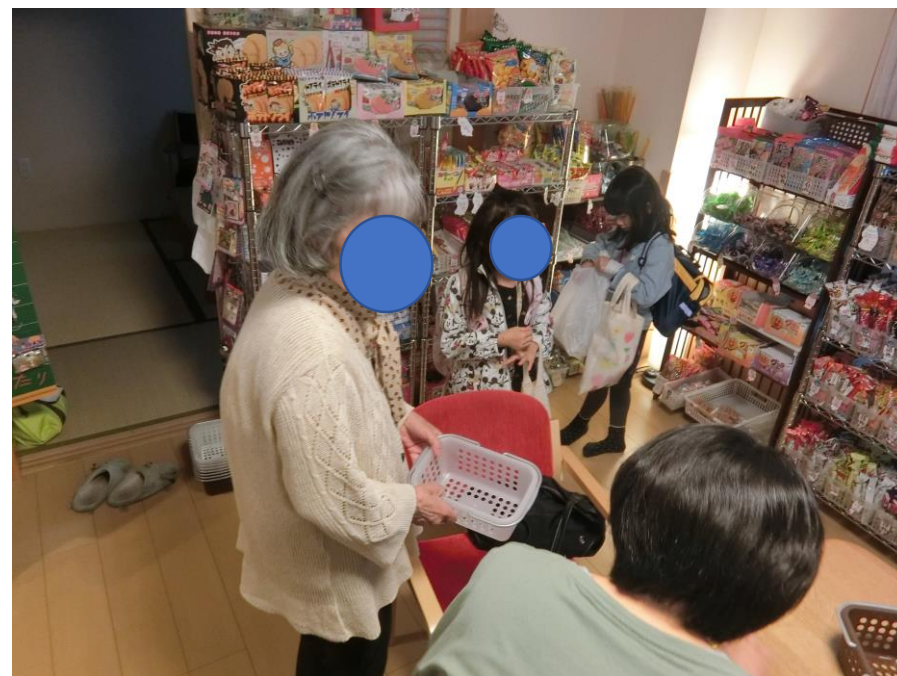


認知症地域支援推進員
にもなりました

(子供の声から)

駄菓子屋きのこ

H30年7月下旬～



(利用者の声から)

野菜の販売 H30年7月 9月



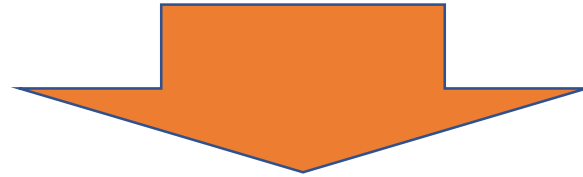
自分の経験を活かして

書道教室 R1年6月～



平成30年10月ファーム・エイド東五反田開催

- ・地域のつながりは少しずつできてきたが、**NTT東日本関東病院**との地域のつながりはほとんどなかった。課題であった
- ・H30年8月病院よりファーム・エイドの担当者を町会に紹介され、町会長より東五反田倶楽部に連絡が入った。



- ・きっかけが今までなかったが、NTTから紹介という事で、チャンス！！と思った
- ・病院も一緒に参加してくれるのならという条件をつけて開催に至った

こだわりのまち・むら交流イベント

町会発&初！日本の農業や農家、農村地域にエールを

第1回ファーム・エイド東五反田【2018秋】

森、里、街、そして海をつなぐサステナブルネットワークフェスタ



開催11年・通算35回のファーム・エイド銀座の兄弟分として、名古屋、仙台、尼崎、江戸川ひらに続いて今回が初開催となる都市農村交流イベント「ファーム・エイド東五反田」。

都市と農村の相互交流に向けた【買って応援！食べて応援！】を基本に、大地の恵みに感謝する【いのちつながる物語】を、五反田発で創っていきます。全国各地のこだわりの農産品や加工品、工芸品を、この機会にどうぞお求めを♪

【日時】2018年10月28日（日）11：00～17：00 雨天決行

【場所】東五反田倶楽部（品川区東五反田4-11-6）
内及び横の区道＝NTT東日本関東病院前



※雨天時には中止の場合あり

建物横（区道のテント）

- <11：00～17：00（…6時間）>
- ☆企業組合八幡平地熱活用プロジェクト（岩手県八幡平市）
 - ☆NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター（新潟県村上市）
 - ☆かしのみラボ（山梨県甲府市）
 - ☆ときわぎ工舎（千葉県陸奥町）
 - ☆東五反田倶楽部（東京都品川区）
 - ☆ジロール麹町（東京都千代田区）
 - ☆おかやま新庄マルシェ（岡山県新庄村）
 - ☆こだわり品ねっと（香川県高松市）
 - ☆中津からあげぶんどや（大分県中津市）
 - ☆一般社団法人南の島しょ域交流機構（鹿児島県南さつま市）

建物内（東五反田倶楽部）

- <11：00～13：30（…2時間半）>
- ◇Xmasキャンドルづくり
- <14：00～16：30（…2時間半）>
- ◇みつろうクレヨンDEエコバッグづくり
- ※いずれも定員30名を予定（材料がなくなり次第終了）

会場案内見取り図



【最寄り駅：五反田駅】から徒歩
*JR線及び東急池上線：約7分
*都営浅草線（A7口）：約5分

<主催> ファーム・エイド東五反田実行委員会

<共催> 相生会町会、東五反田倶楽部、博芳堂薬局

<協力> ほっぺるランド、城南信用金庫、学校法人東京マスタ学院調理師専門学校

<後援> NTT東日本関東病院 <企画> 有限会社地域システム創造研究所

あなたの「おいしい！」が、日本の地域と食農を元気にします

ファーム・エイドとは、【ファーム＝農林漁業・農林漁家・農山漁村など】を都市部・消費地から【エイド＝応援・協力】しようという想いやこだわりに基づく催事。農山漁村でがんばっている人（各分野の名人・達人）、埋もれている地域資源（安全・安心な食材、伝承すべき技術・知恵、失われゆく文化・芸能など）に光を当て、その物語を都市の生活者に伝えることで、地域への正当な評価を引き出すきっかけとし、都市と地域とのつながりを認識し、支え合う新たな関係性を構築します。

町会×福祉施設のコラボで、「顔の見える交流」をめざします

地元に着目した【町会（相生会町会）×福祉施設（東五反田倶楽部）】が中核となり、積極的に地元住民はもちろん、地元外の方々にも参加を呼びかけて執り行います。一過性でない開催の積み重ねにより、広く都市民に開かれた医療福祉の施設・エリアづくり（いざという緊急時に備えた、日常・平時からの地域コミュニティの形成・確立＝地域ぐるみでの先進的な「地域包括医療・ケアシステム」の具体的実践）をも実現し、東五反田の新たな価値（地元・福祉施設・農山漁村の三方よし）を創造します。

★★★★★★★★ 出店団体（12小間を予定）★★★★★★★★

※出店団体及び内容が変更の場合あり

企業組合 八幡平地熱活用 プロジェクト マッシュルーム マッシュルーム加工品等	NPO法人 都岐沙羅パートナーズ センター 高根集落の棚田米 村上名物の鮭加工品等	かしのみラボ ドライフルーツ：約20種 （巨峰・桃・デラウェア リンゴ・スモモ等）	ときわぎ工舎 ラスク、焼き菓子 梅干、木工品等
東五反田倶楽部 ビール、電球サイダー 陶芸品（東京学芸大学 付属特別支援学校作）等	ジロール麹町 障がい者施設作の物産 （干し椎茸・昆布 ポン酢・紫米等）	おかやま新庄マルシェ モッフル（新庄村特産 ヒメノモチのワッフル） 新庄おかき等	こだわり品ねっと 香川県産ひまわり油等 （PRを中心に）
中津からあげ 「ぶんどや」 名物中津からあげ等	一般社団法人 南の島しょ域交流機構 安納芋の焼きいも 安納芋のスティック 加治木まんじゅう等	<お手軽体験> Xmasキャンドル づくり みつろうクレヨンDE エコバッグづくり	<お気軽相談> 健康増進コーナー 栄養管理コーナー

【お問い合わせ】ファーム・エイド東五反田実行委員会（担当：大越 090-2754-5652）







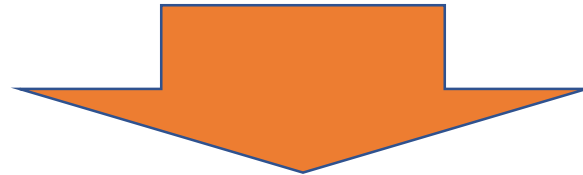
ファーム・エイド東五反田開催しての成果・課題

成果

- ・ N T T 東日本関東病院と連携のきっかけができた

課題

- ・ 総合相談だけの参加で病院との連携の実感がわかなかった
- ・ コンセプトがなくなんとなく開催しただけになってしまった
- ・ 8月から2ヶ月で開催、準備期間も告知期間も短かった
- ・ ただのマルシェの開催となった
- ・ 行政との連携が課題



病院からの紹介という事でスタートさせたが様々な課題が残った

反省をふまえて

- 1、コンセプトを決定
楽しみながら様々な職種の人たちが繋がりを作る為の祭りにしよう！！
・・・分野問わず誰でもウエルカム
- 2、病院との連携強化・・・病院内でも問題が山積み
- 3、行政との連携・・・一緒に行なうことができないか

H30年12月 地区ケア会議での実践報告と提案

東五反田・上大崎地区の医療・介護に携わる様々な人たちで構成されている。
月1度定期的に行われていて、毎回40名前後が参加している
品川区の中でも1番大勢が参加している地区である

地区ケア会議の場でファーム・エイドの取り組みを紹介、会議のメンバーで何かできることはないかと考え、その日の会議の中でみんなで楽しみながら名物を作って売ろうという話で盛り上がった！！



参加している居宅、デイサービス、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、薬局、家政婦紹介所などがチームに加わった。

H31年4月

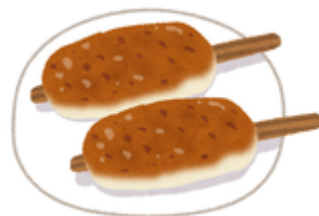
みんなの談義所しながわ(認知症本人グループ)の橋本さん(46期生)より一緒に加わりたいと申し出があった。

東五反田・上大崎発の名物！！

品川区の認知症推進キャラクターのくるみちゃんにちなんだ商品はどうだろうか⇒くるみ味噌をつかってみるのいいかも

- ・おまんじゅう
- ・団子
- ・五平餅
- ・おにぎり

など



地域の和菓子屋とコラボができないか模索



陸前高田の工房めぐ海のおやきの紹介を受けた。

東日本大震災で被災し、工房が全壊してしまった。
コラボして復興支援にもなると考えた。



▲ 左から、村上ミエコさん、佐藤八千代さん、
代表の村上豊子さん、小松和枝さん



談義所との出会い 46期 橋本さんとの連携

- ・ 同じ品川区内の指導者
- ・ 小規模多機能型居宅介護で以前より連携していた
- ・ 参加している認知症本人が物を売ってみたいと以前から話しているのでファーム・エイドに参加したいと申し出があった
- ・ 談義所のメンバーは認知症本人、家族、ケアマネ、介護職、医者、出版社、記者、看護職、カレー屋さん、薬局関係などなど
- ・ 話すことも、やりたい事も自由、何でもOK



病院との連携について

- ・ 総合相談室以外の連携について
- ・ 病院の本部と現場の差異があった
- ・ 病院内の縦割りの仕組みが存在
- ・ 病院の内部でも何とかしたいと言う声が広がった



少しづつではあるが協力を得やすいところから仲間に加えていく
P T ・ O T ⇒ 救急外来 ⇒ 看護部へと

H 3 1 年 6 月 1 4 日

第 1 回目のファーム・エイド実行委員会を開催

出席は 1 8 名(町会・在支・病院・大学・薬局・談義所)



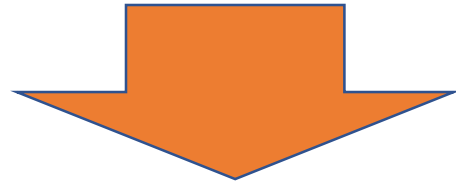
方向性、コンセプト、形式の確認、決定
・講演会、体験コーナー、マルシェの3つの柱でいくことを決定
・つながりを広げると言う意味をこめて
**「わ！っとつながるみんなの未来
ファーム・エイド東五反田」**
に正式名称を決定

- ・予算がないという大きな課題に直面した
⇒協賛という形だけではきびしい・・・
⇒行政とも連携したい・・・

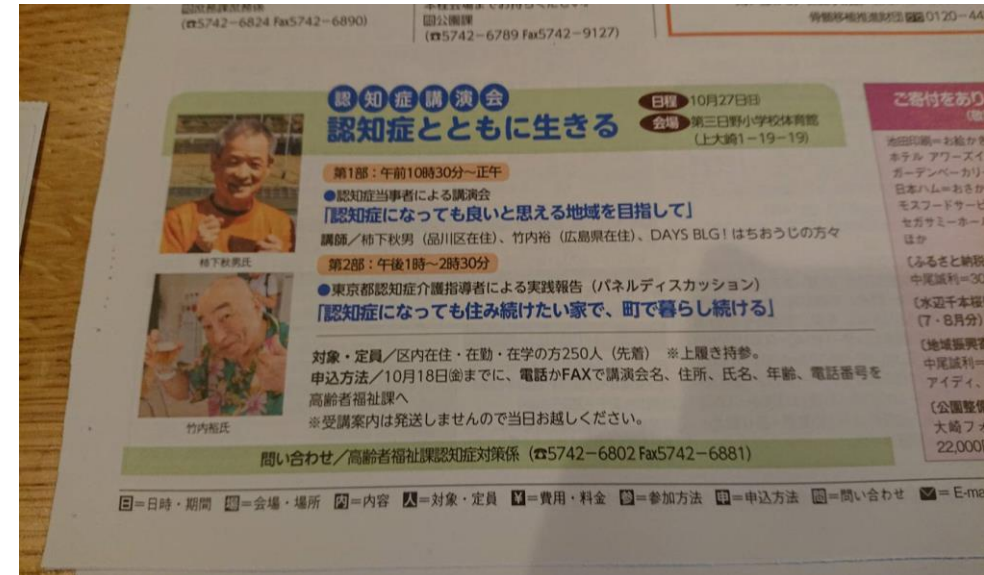


行政との連携について

- ・一緒に連携をして講演会の共催をしたい
- ・認知症講演会を行政主体で毎年開催しているので連携できないか
- ・認知症地域支援推進員や認知症カフェで連携
- ・認知症本人の所属する談義所の存在



講演会の共催として一緒に行なえることになった
広報などに講演会について載せてもらえた





主催:ファーム・エイド東五反田実行委員
共催:品川区(講演会)・相生会町会
協賛:医療法人社団青葉会carna五反田・ソフィア訪問看護ステーション不動前
博芳堂薬局・御F-SUNツーリストジャパン・御ハート・トータルサービス
ファミリーマートNTT関東病院前店・(有)松坂屋伊藤洋服店・伊藤 晃司
協力:NTT東日本関東病院・東京医療保健大学医療保健学部
上大崎在宅介護支援センター・さくら薬局・日生薬局
品川区立第三日野小学校・ほっぺるランド東五反田
みんなの談義所しながわ・いきいき福祉ネットワークセンター
かしのみらぼ・ときわぎ工舎・ハウカンTOKYO不動前
東京都認知症介護指導者・東京都小規模多機能型居宅介護協議会

後援:城南信用金庫・五反田陸町会



開催日時*令和元年10月27日(日)

○講演会○会場:第三日野小学校体育館

認知症とともに生きる

1部:認知症になっても良いと
思える地域を目指して
【10:30~12:00】

◎ 認知症ご本人による講演会 ◎



*竹内 裕さん(広島県)



*柿下 秋男さん(品川区)

*DAYS BLG! はちおうじの方々

2部:認知症になっても住み続けたい
家で、町で暮らし続ける
【13:00~14:30】

東京都認知症介護指導者3名による
実践報告とパネルディスカッション

※講演会は、品川区共催で行います

↓申込先*品川区高齢者福祉課 認知症対策係へ↓

TEL: 5742-6802 FAX: 5742-6881

氏名・住所・1部/2部の参加希望を記入の上、
電話またはFAXで申込み下さい。

※会場が体育館ですので各自履物をご持参ください。

○体験コーナー○

地域の薬局による
薬の分包体験☆☆

【14:00~16:00】

※出入り自由

(体験時間は10分程度です。)

チョコレートやラムネを薬に見立て、子供たちに薬を分包する疑似体験をして貰います。

※分包したお菓子は持ち帰れます

会場:博芳堂薬局

NTT 東日本関東病院有志
による講演会

【13:30~14:30】

事前申し込み不要

「病院と地域のつながり」

入院した方が安心して在宅療養へ復帰する関わり

会場:さくら薬局

★全ての講演会及び
体験コーナー参加無料

資料 2

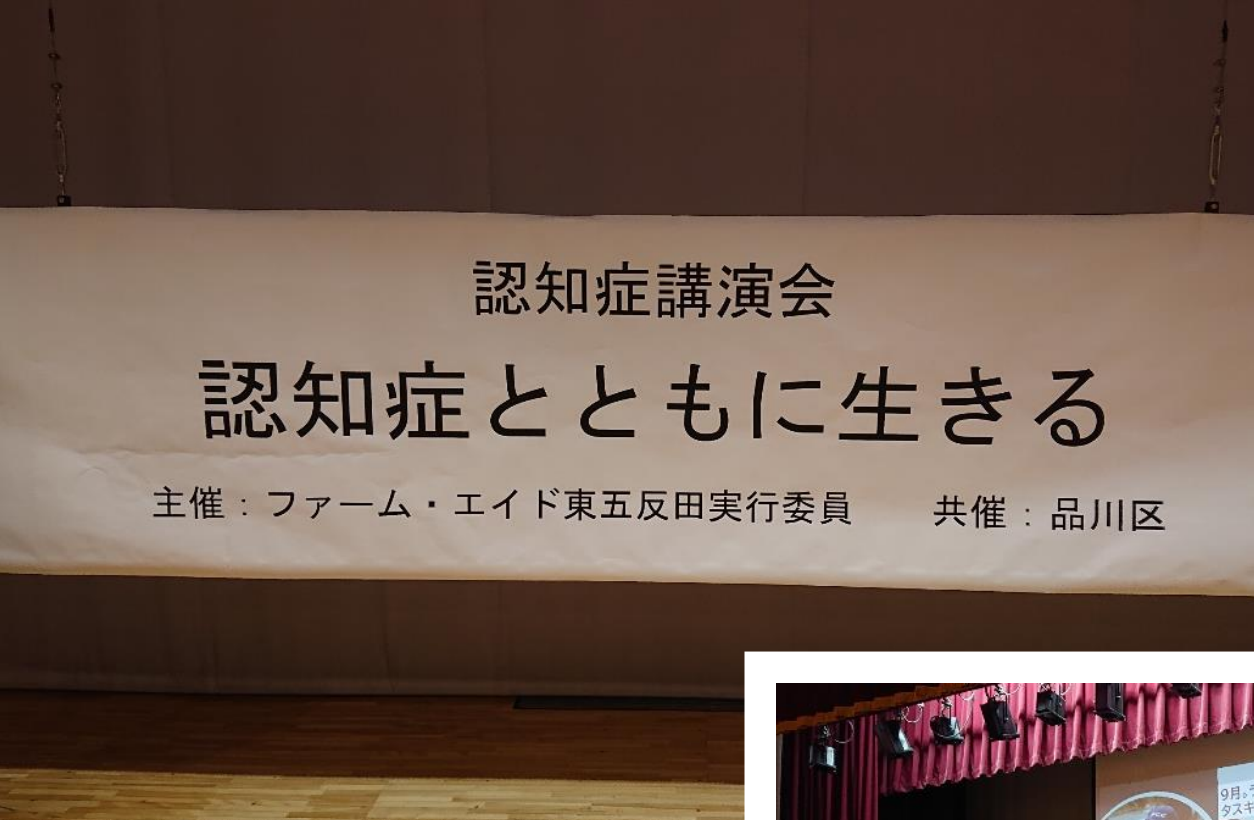


[illegible]



ファーム・エイド東五反田
10月27日(日)















ファーム・エイド東五反田開催しての成果・課題

成果

- 様々な職種や地域の方々がそれぞれの役職や垣根を越えて同じ方向をむいて一緒に楽しむことができた。
- 取り組みを通じて話し合いをする機会が増えて日々の相談がお互いにしやすくなった。
- 始めて参加した病院関係者から、「こんなに楽しいイベントなら来年は後輩を多く連れて参加したい。実は今回参加するまでは本当に人が来るのか、意味があるのだろうか」と失礼だが疑っていた。」と感想があった。(PT)
- 品川区としてエリアを絞って認知症講演会を開催するのは初めてだったが、地域の人々の参加割合も多くとても良かった。(区職員)

ファーム・エイド東五反田開催しての課題・展望

課題

- ・ 更に行政と連携を強化していきたい
- ・ 地域外の人たちへの周知
- ・ 病院内の他職種との更なる連携へ

展望

- ・ 繋がり始めた関係で新たな取り組みへ
- ・ 年に1回のイベントの為の集まりとならないように・・・
- ・ 行政と一緒にあって同じ方向を向かっていく為に・・・

今後の展開

地域共生カフェの構想



ファーム・エイドで繋がった関わりで様々な職種が入れ替わり
担当する地域共生カフェの開催に向けて検討していく